

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドウ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdou.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大井 康生
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 名

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	713	—	△28	—	△28	—	△32	—
20年3月期第1四半期	622	3.0	16	—	16	—	26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△2,516.32	—
20年3月期第1四半期	2,042.17	2,028.32

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	1,537	—	849	55.3	—	—	64,963.94	—
20年3月期	1,231	—	882	71.7	—	—	67,480.25	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 849百万円 20年3月期 882百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	—	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,500	—	△18	—	△20	—	△23	—	△1,758.00
通期	3,500	42.1	47	35.5	40	5.3	32	7.0	2,445.92

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 13,083株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期第1四半期 13,083株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。
 なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰等から企業収益の伸び悩みや民間設備投資の横ばいなど景気回復の減速感が鮮明となってきました。また、ガソリン価格高騰をはじめとした日用品の値上げから消費者の節約志向が高まり、外出機会を控える風潮も高まり、個人消費においても、減退ムードが高まりつつあります。

しかし、ゴルフ業界におきましては、各メディアにおいてゴルフに関する情報が露出する機会が多くなったことから、「初めて」または「改めて」ゴルフを始めようとするゴルファーが増える傾向にあります。それを裏付けるように経済産業省の「特定サービス産業動態調査」においてもゴルフ場・練習場の入場者数が2005年から3年間ほぼ増加傾向を辿っており、さらに2008年4月・5月ともに前年同月比増となる等、個人消費の減退が言われている中では比較的明るい傾向が見えてきております。

このような経営環境のもと、当社では店舗の出店、新品クラブコーナーの新設、新業態店舗「GOLF J-WINGS」の出店決定等、中期経営計画「Reborn2010」の2年目の施策を着実に実行してまいりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗につきましては、直営事業では当社独自開発となる150坪パッケージである「ゴルフ・ドゥ！アクロスプラザ久喜店」「ゴルフ・ドゥ！武蔵村山店」の2店舗を当第1四半期会計期間に出店し、平成20年6月末日現在の営業店舗数は全国で合計74店舗となりました。

また、「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」では、ショップ会員は4万人を突破し、売上も順調に伸ばしております。

さらに、新業態店舗（これまでにないゴルフショップブランド）として準備を進めてまいりました「GOLF J-WINGS」のアンテナショップ1号店の出店が決定いたしました。出店場所は、神奈川県横浜市港北ニュータウン、オープンは平成20年12月を予定しております。

一方、当第1四半期会計期間においては、上記の出店及び出店準備のために、人件費関連が大幅に増加、出店のための先行投資がかさむ結果となりました。

また、直営店の主要店舗において新たな顧客層を取り込んでいくために新品クラブコーナーを新設しました。これまでは「中古クラブ販売のゴルフ・ドゥ！」というイメージが浸透していることから、新品クラブ販売を中心とした販促活動も積極的に強化してまいりました。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は7億13百万円（前年同期比14.7%増）、営業損失が28百万円（前年同期営業利益16百万円）、当第1四半期会計期間純損失は32百万円（前年同期純利益26百万円）となりました。

これを事業部門別で見ますと、直営店売上は5億76百万円（前年同期比25.6%増）となりましたが、フランチャイズ事業は1億37百万円（前年同期比15.9%減）となっております。

なお、店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

単位：％

月	平成20年4月	平成20年5月	平成20年6月	第1四半期合計
チェーン全店	114.6	115.9	116.5	115.7
チェーン既存店	102.8	105.3	107.7	105.2
直営全店	122.8	119.3	135.3	125.5
直営既存店	91.8	93.8	100.1	95.0
F C全店	112.0	114.9	111.3	112.7
F C既存店	106.2	108.8	109.7	108.3

損益面では、新品クラブ販売本格導入に伴う商品在庫の積み増しを行ったために売上原価が上昇し、粗利益率は41.2%（前年同期41.9%）と0.7ポイント低下した結果、売上総利益は前年同期2億60百万円から2億94百万円（前年同期比12.9%増）に留まりました。また、営業損益は販売費及び一般管理費の中で、新規出店に伴う人件費関連の増加、新品クラブコーナー新設のための販売促進費の増加から前年同期16百万円の営業利益から28百万円の営業損失となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ3億6百万円増加し、15億37百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ、現預金が27百万円増、売掛金が9百万円増、商品が94百万円増となりました。従って、当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末に比べ1億39百万円増加し8億88百万円となりました。

固定資産は、直営店の出店に伴う固定資産、敷金・保証金、建設協力金、店舗賃借仮勘定が増加しました。従って、当第1四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末に比べ1億66百万円増加し、6億49百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ買掛金、短期借入金が増加しました。従って、当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ77百万円増加し、3億45百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ、直営店の出店に伴う長期借入金が2億60百万円増加しました。従って、当第1四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末に比べ2億61百万円増加し、3億42百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、27百万円増加し、当第1四半期会計期間末には1億27百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は99百万円（前年同期11百万円の支出）となりました。

これは、主に直営店舗の増加及び新品クラブ販売の強化に伴うたな卸資産の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億72百万円（前年同期47百万円の支出）となりました。

これは、主に直営店の出店による有形固定資産の取得による支出99百万円、敷金・保証金、建設協力金、店舗賃借仮勘定の拠出による支出68百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は3億円となりました。

これは、長期借入金による収入によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の見通しにつきましては、サブプライムローン問題に端を発した国際的な金融市場の混乱、原油価格の高騰等に伴う原材料高、ガソリン価格高騰をはじめとした日用品の値上げ等から引き続き消費者の節約志向は高まり続けるものと思われまます。

当社でも、消費者の節約志向がゴルフ関係マーケットにどのような影響を及ぼすか注視しておりますが、ゴルフ人口そのものの大幅な落ち込みはないものと考えております。

このような状況のもとで当社は、会社理念である「ゴルフ・ドゥ！ブランドを通して、世界の人々に夢と感動と心の満足を提供する」の体現を目指し、「ゴルフ・ドゥ！」の出店戦略を強力に推進してまいります。既に、直営事業においては、7月4日「ゴルフ・ドゥ！新大宮バイパス浦和店」を出店、9月下旬には「ゴルフ・ドゥ！GLOBO 蘇我店（仮称）」がオープンする予定です。

さらに、店舗在庫の効率的な流通チャネルである「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」の強化にも、積極的に取り組んでまいります。当期において、「用品販売」「ネット買取り」のサービスを拡充し、さらなるショップ会員の増加、売上の増加に取り組んでまいります。

また、新業態店舗「GOLF J-WINGS」のアンテナショップ出店を推し進めるとともに、新たな人材の確保や外部協力会社も含め、平成22年3月期の本格的な展開に向けた総合プロジェクトとして取り組んでまいります。

以上のことから、平成21年3月期の業績見通しは、平成20年5月15日に発表いたしましたように第2四半期累計期間及び通期においては、概ね予想どおりに推移しており、本資料の公表時点では業績予想の変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(i) 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法で償却している資産に関して、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(i) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(ii) たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、ゴルフクラブに関して個別法による原価法を、ゴルフクラブ以外に関しては総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、ゴルフクラブは個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、ゴルフクラブ以外は総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、税引前四半期純損失は3,371千円増加しております。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,204	99,598
売掛金	87,875	77,933
商品	610,936	516,165
貯蔵品	2,438	2,331
前払費用	25,896	22,519
未収消費税等	2,668	—
繰延税金資産	34,627	34,549
その他	1,649	595
貸倒引当金	△5,247	△5,544
流動資産合計	888,050	748,148
固定資産		
有形固定資産		
建物	172,837	135,886
減価償却累計額	31,080	28,277
建物(純額)	141,756	107,609
構築物	18,050	18,022
減価償却累計額	4,941	5,504
構築物(純額)	13,109	12,518
車両運搬具	4,754	5,002
減価償却累計額	3,071	3,116
車両運搬具(純額)	1,682	1,886
工具、器具及び備品	171,287	141,025
減価償却累計額	90,857	85,954
工具、器具及び備品(純額)	80,429	55,071
建設仮勘定	34,843	567
有形固定資産合計	271,822	177,652
無形固定資産		
電話加入権	923	923
ソフトウェア	37,968	37,545
ソフトウェア仮勘定	2,604	1,302
無形固定資産合計	41,496	39,771
投資その他の資産		
投資有価証券	4,651	4,651
長期貸付金	1,567	1,567
長期前払費用	19,961	8,855
敷金及び保証金	149,809	130,291
建設協力金	98,981	32,364
店舗賃借仮勘定	63,000	90,000
貸倒引当金	△1,567	△1,567
投資その他の資産合計	336,404	266,163
固定資産合計	649,723	483,587
資産合計	1,537,773	1,231,735

株式会社ゴルフ・ドゥ(3032) 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,241	117,497
1年内返済予定の長期借入金	39,984	—
未払金	84,632	79,249
未払費用	42,377	37,007
未払法人税等	2,745	6,709
未払消費税等	—	369
預り金	4,822	2,241
賞与引当金	10,447	13,592
ポイント引当金	13,690	10,470
その他	200	396
流動負債合計	345,141	267,534
固定負債		
長期借入金	260,016	—
退職給付引当金	33,393	32,057
長期預り保証金	49,300	49,300
固定負債合計	342,709	81,357
負債合計	687,850	348,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,765	500,765
資本剰余金	177,817	177,817
利益剰余金	171,339	204,260
株主資本合計	849,923	882,844
純資産合計	849,923	882,844
負債純資産合計	1,537,773	1,231,735

株式会社ゴルフ・ドゥ(3032) 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	713,464
売上原価	419,393
売上総利益	294,071
販売費及び一般管理費	322,756
営業損失(△)	△28,685
営業外収益	
受取利息	367
受取手数料	428
助成金収入	600
雑収入	14
営業外収益合計	1,411
営業外費用	
支払利息	602
たな卸資産処分損	177
雑損失	3
営業外費用合計	783
経常損失(△)	△28,057
特別利益	
貸倒引当金戻入額	297
特別利益合計	297
特別損失	
固定資産除却損	12
たな卸資産評価損	3,371
特別損失合計	3,383
税引前四半期純損失(△)	△31,144
法人税、住民税及び事業税	1,854
法人税等調整額	△77
法人税等合計	1,777
四半期純損失(△)	△32,920

株式会社ゴルフ・ドゥ(3032) 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△31,144
減価償却費	13,772
長期前払費用償却額	140
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△297
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,336
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,144
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,220
受取利息及び受取配当金	△367
支払利息	602
有形固定資産除却損	12
長期前払費用の増減額(△は増加)	△2,857
売上債権の増減額(△は増加)	△9,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△97,321
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,933
仕入債務の増減額(△は減少)	28,744
未払金の増減額(△は減少)	2,563
未払費用の増減額(△は減少)	5,369
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,192
その他の負債の増減額(△は減少)	3,275
小計	△92,162
利息及び配当金の受取額	367
利息の支払額	△1,064
法人税等の支払額	△6,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	△99,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△99,799
無形固定資産の取得による支出	△4,464
貸付金の回収による収入	297
敷金及び保証金の差入による支出	△19,517
建設協力金の回収による収入	802
建設協力金の支払による支出	△17,142
店舗賃借仮勘定拠出による支出	△33,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	300,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,606
現金及び現金同等物の期首残高	99,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	127,204

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	622,117
II 売上原価	361,595
売上総利益	260,522
III 販売費及び一般管理費	244,510
営業利益	16,011
IV 営業外収益	425
受取利息	54
受取手数料	342
雑収入	27
V 営業外費用	337
株式交付費	18
雑損失	318
経常利益	16,099
VI 特別利益	186
固定資産売却益	186
VII 特別損失	—
税引前四半期純利益	19,285
税金費用	△10,328
四半期純利益	26,613

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純利益	16,285
減価償却費	9,834
退職給付引当金の増加額	3,198
賞与引当金の減少額(△)	△8,142
売上債権の減少額	5,034
たな卸資産の増加額(△)	△20,466
仕入債務の増加額	916
未払金の減少額(△)	△5,593
その他	△7,246
小計	△6,179
法人税等の支払額	△5,753
その他	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,894

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△20,261
無形固定資産の取得による支出	△7,972
敷金・保証金拠出による支出	△20,000
その他	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,886
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式発行による収入	1,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,646
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△58,134
VI 現金及び現金同等物の期首残高	329,158
VII 現金及び現金同等物の期末残高	271,023